

学位論文に係る評価基準

看護学研究科

【前期博士（修士）】

1. 論文に発展性、萌芽性がある。
2. 看護実践への応用が可能である。
3. 論文の構成が適切で一貫性がある。
4. 研究テーマの設定は適切である。
5. 先行研究の十分な検討がなされている。
6. 研究方法の選択が適切である。
7. データや調査結果の分析・解釈が妥当である。

【後期博士（博士）】

1. 論文に新規性、独創性があり、学術的貢献がみられる。
2. 看護実践への応用が可能であり、有用性がある。
3. 研究テーマ、問題意識に沿って論旨が明確で一貫性がある。
4. 研究テーマの設定は適切である。
5. 国内外の先行研究の十分な検討がなされている。
6. 研究方法の選択が適切である。
7. データや調査結果の分析・解釈が妥当である。